

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000176
事業所名	グループホーム大清水彩幸

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入し、回覧板がまわってくる。地域の人たちが主体となって地域サロン「彩幸クラブ」を事業所内の共用部で開き、地域の人たちや利用者たちがサロンを楽しんでいる。またそのほかの集会にも共用部を提供している。事業所主催の文化祭を地域にも開放し、模擬店やキッチンカーも呼んで、利用者のみならず地域全体で盛り上がった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	会議は年に6回、隔月ごとに開かれ、包括支援センター職員、自治会長、民生員、利用者家族が集まり、事業所の運営状況について知ってもらうとともに、地域の情報を得る場としている。コロナ禍で中止していた対面での開催も復活している。うち一回を事業所文化祭の日に関き、参加者に文化祭の雰囲気や利用者の様子を直接見てもらう機会とした。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	認定更新などで直接窓口を訪れ、関係を築いている。包括が地域サロンでとりあげるテーマなどを伝えてくれる。研修の案内が届く。災害時に地域住民を受け入れる協定があり、段ボールベッドや簡易トイレが市から提供されている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	事業所便りが毎月発行され家族に送付されている。家族には普段から面会時や電話連絡を通し、意見や要望がないか必ずきくようにしており、あがった要望などは朝のミーティングなどを通し共有している。また利用者の食の要望や外出の要望を家族に伝え、対応してもらっている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	×	×	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎	○	◎	○					